

## 全国産業資源循環連合会女性部協議会 中部地域協議会女性部会設立総会

### 女性部

日 時：令和6年9月12日（木）午前11時

場 所：ANA クラウンプラザホテル

グランコート名古屋

スカイレストラン スターゲイト

出席者：総会 46名（委任状17名を含む。）

講演会・ランチ会 59名

産業資源循環業界において活躍する女性の一層のレベルアップと次世代への継承に向け、女性層の組織化、活躍促進を図ることを目的とした、全国産業資源循環連合会女性部協議会中部地域協議会女性部会設立総会が開催されました。

#### ◆第一部 設立総会

開会にあたり（一社）愛知県産業資源循環協会女性部会長 東久保真弓氏は、「本日は、中部4県女性部会の皆様にご出席いただくとともに、全国及び他都府県の女性部会の皆様にご臨席いただき、誠にありがとうございます。令和元年に愛知県協会女性部の設立以来、令和4年に岐阜県協会、令和5年に静岡県協会、三重県協会に女性部会が設立し、これを機に、愛知・岐阜・静岡・三重の各県協会女性部会で中部地域協議会女性部会の発足を目指し準備を進めてまいりました。本日、これより中部地域協議会女性部会規約、役員選出、事業計画案、予算案についてご審議いただきたく、本会を開催いたします。」と述べ、議案審議が行われました。

■第一号議案 全国産業資源循環連合会女性部協議会  
中部地域協議会女性部会規約について

■第二号議案 役員選出について

■第三号議案 令和6年度事業計画について

■第四号議案 令和6年度取支予算について

全ての議案は原案通り承認され議案審議は終了しました。

#### ◆第二部 記念講演

演題：女性が輝く社会をめざして

講師：愛知県副知事 牧野利香氏

講演内容は、①女性の活躍とは、なぜ女性の活躍

が必要か ②愛知の女性活躍の現状 ③女性が輝く愛知へ（愛知県の施策）について話しました。

はじめにジェンダーギャップ指数について触れ、2024年の世界146か国中、日本の順位は総合で118位という低い結果であり、二桁の順位になったことがないということです。日本においては制度を整えても実質が変わっていくことが難しいため、女性の参画を進めたり、女性役員を増やす、という目に見える形で多様性のある社会を推進していくことが、過程として必要であるとのことでした。

愛知の現状として、女性の労働力率（25～44歳）、上場企業の女性役員比率、男女差の平均賃金格差等が、いずれも全国調査の数値より低い結果となっているとのこと。女性活躍の課題として、企業側の課題（製造業等が多いという特性上、女性の採用が難しいことや、女性が少ない職場においてはロールモデルの提示が難しいこと）と、女性側の課題（理想のライフコースの認識と職業意識）について解説がありました。

次に、副知事をリーダーとする【あいち女性の活躍促進プロジェクト】について話がありました。実施内容は7項目あり、「1.女性の活躍に向けた機運の醸成」があり、その中の企業の取組である“あいち女性輝きカンパニー”は、就活女子学生の評価基準になるそうです。「2.ワーク・ライフ・バランスの推進」では、男性の育児参加促進、愛知県の休み方改革プロジェクトについて、「3.保育サービスの一層の充実」では、病児・病後児保育の促進等、「4.女性再就職及び企業の支援」では、出産、子育て等で離職した女性の再就職支援等、「5.女性の人材育成強化及び職域拡大」では、女性管理職養成セミナー等、「6.女性のキャリア形成のための環境整備」では、県庁における職員の意識改革等、「7.進路選択の支援」では、女子学生への女性活躍推進企業のPR、男女共同参画を推進する高校生の育成等、について事例を挙げて話がありました。

講演後、会場からの「牧野副知事のおっしゃる女性の輝きとは何ですか？」の質問に、牧野副知事は「女性のやりたいことができる世の中であることが輝

きにつながるのでは、と思います。これまで女性は、子育て、家事は自分の仕事だと思いつつも、他にやりたいことがあったかもしれません。日本はそこで我慢する女性が大多数を占めていたので、これからはやりたかったことを選択できることが輝きにつながると思います。自身を振り返り、輝いていたのか、と考えると、子育てでは反省点が多く、仕事では力を発揮できていたのかと考えますが、とても良い人生経験ができたと思っています。」と本音で語っていただけ、大変貴重な講演でした。

### ◆第三部 ランチ会

会に先立ち、東久保会長は「先程、無事に中部地域協議会女性部会設立総会が開催され、会長という大役を仰せつかりました。本日はお忙しい中、愛知県副知事牧野利香様、(公社)全国産業資源循環連合会永井会長様をはじめ多くのご来賓の皆様にご臨席を賜り誠にありがとうございます。また、牧野様からは大変貴重なご講演をいただきありがとうございます。中部地域協議会女性部会の設立を機に、共に学びながらこの業界の女性活躍推進、多様な人材が活躍できる環境づくりに力を入れ、中部地域の産業に寄与すること、また業界のイメージアップと地位向上を目指してまいりたいと思います。皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。」と挨拶されました。

来賓の挨拶で(公社)全国産業資源循環連合会の永井良一会長は「本日は、中部地域協議会女性部会の設立、誠におめでとうございます。皆様が設立に向けて一生懸命になって準備を進めてきたことを知っているだけに、こうして設立の日を迎えること、とてもうれしく思います。我々産業廃棄物処理業界は、今や、国民生活、国民経済の安定確保に不可欠な業界と位置付けられており、資源循環型社会に向けて、産業廃棄物から資源やエネルギーを製造する「創り手」として期待されています。そうした中、この業界において、女性の経営者、管理職が増え、それぞれの会社で重要な役割を果たされています。私は、女性の活躍は、この業界

が産業資源循環業界へと変貌を遂げる大きな力になるのではないかと考えており、本日の女性部会の設立は、この業界で現在活躍されている女性たちの力を結集するとともに、この業界で将来を担う女性が増えていく、きっかけになるものと大いに期待しているところです。中部地域協議会女性部会、そして、女性部会を構成する会員の皆様が、益々、ご発展されることを祈念いたしまして、本日のお祝いの言葉とさせていただきます。」と述べました。

次に、来賓として、牧野副知事、全国産業資源循環連合会女性部協議会会長二木玲子氏、中部各県協議会役員等をご紹介した後、二木会長からご挨拶と乾杯のご発声があり、ランチ会が始まりました。

出席者は、中部地域協議会女性部会の設立を祝う喜びの時を過ごしました。

歓談中、東久保会長から、牧野副知事にリサイクルの取組の一つとして、廃プラを材料に作ったアクセサリーのサンプルを紹介したところ、廃棄物で作ったと思えないと大変感心され、身に着けて楽しんでいただきました。

しばらくして、岐阜県協会女性部会会長の後藤和恵氏、愛知県協会女性部の東久保会長、三重県協会女性部会副会長の三浦眞世氏及び静岡県協会女性部会会長の海野ひろみ氏から、一言ずつお言葉をいただきました。

時間はあっという間に過ぎ、中部地域協議会女性部会副会長の海野ひろみ氏が閉会を宣言し、ランチ会を終えました。

ランチ会終了後、お忙しい牧野副知事をお引き留めし、記念写真を撮影しました。

### [参考]

中部地域協議会女性部会の設立当初の会員数は59名。全産連の地域協議会では、関東地域協議会女性部会について二番目の設立。



牧野副知事を囲んでの記念写真